

第40回 ゆうちょアイデア貯金箱コンクールについて

1 目的

貯金箱の作製を通じて、次代を担う子どもたちの貯蓄に対する関心を高めるとともに、造形的な創造力を伸ばすこと等を目的として開催しており、1975年の第1回開催以来、今回で40回目の節目を迎える長い歴史を持っています。

2 応募期間

2015年8月31日(月)から同年9月30日(水)まで

3 応募学校総数および応募作品総数

○応募学校総数：11,365校

○参加作品総数：832,530点 ⇒ 応募作品総数(学校代表)：50,339点

児童数は少子化の影響もあり年々減少傾向にも関わらず、本コンクールでは、昨年に比べ、8,611名も多くの子どもたちにご参加いただきました。

(参考：応募状況の推移)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
参加児童数	811,077	811,386	812,726	823,919	832,530
応募小学校数	11,719	11,520	11,527	11,392	11,365
(参考) 全国小学校数	22,000(校)	21,721(校)	21,460(校)	21,131(校)	20,601(校)
応募小学校数割合 (応募小学校数/全国小学校数)	53.9%	53.7%	54.5%	54.6%	55.2%

※全国小学校数は、文部科学省「学校基本調査」から引用

4 審査

(1) 一次審査(2015年10月)

各学年ごとに応募作品の審査を行い、240点を選定。

(2) 最終審査(2015年11月26日(木))

一次審査で選定した240点の各賞を決定。

※地域特別賞は、240点以外の次点作品の中から13点を、弊社内で地域ごとに選定。

なお、審査は、後援団体関係者、協賛団体関係者、教育関係者、美術専門家および主催者等によって厳正に実施いたしました。

【最終審査員】(敬称略)

おかだ きょうこ 岡田 京子 (文部科学省 初等中等教育局 教科調査官)

おのぼり せいいち 尾登 誠一 (東京藝術大学 教授)

すがわら きよたか 菅原 清貴 (イラストレーター/北海道造形教育連盟顧問)

とみやす けいじ 富安 敬二 (立教大学 名誉教授)

はしもと みつあき 橋本 光明 (長野県信濃美術館・東山魁夷館 館長)

ふちえ あつし 淵江 淳 (日本郵便株式会社 執行役員)

やまもと ひろかず 山本 浩和 (株式会社ゆうちょ銀行 広報部長)

5 入賞者数

	小学校 1年生の部	小学校 2年生の部	小学校 3年生の部	小学校 4年生の部	小学校 5年生の部	小学校 6年生の部	計
文部科学大臣賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
ゆうちょ銀行賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
ゆうびんきよく賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
審査員特別賞	3点						3点
すてきなデザイン・アイデア賞	219点						219点
地域特別賞	13点						13点
計							253点

6 寄附の実施

○寄附金総額：8,325,300円

ご応募いただいた作品1点につき10円を、ゆうちょ銀行から公益財団法人日本ユニセフ協会および独立行政法人国際協力機構に寄附いたします。寄附金は開発途上国で貧困や病気に苦しむ子どもたちのための支援活動などに役立てられます。

7 入賞作品展示会の開催

入賞作品253点については、全国6カ所で開催する展示会で展示します。
詳細は、別紙3をご覧ください。

以上